

広報 心じ

NO. 120

47.9.25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

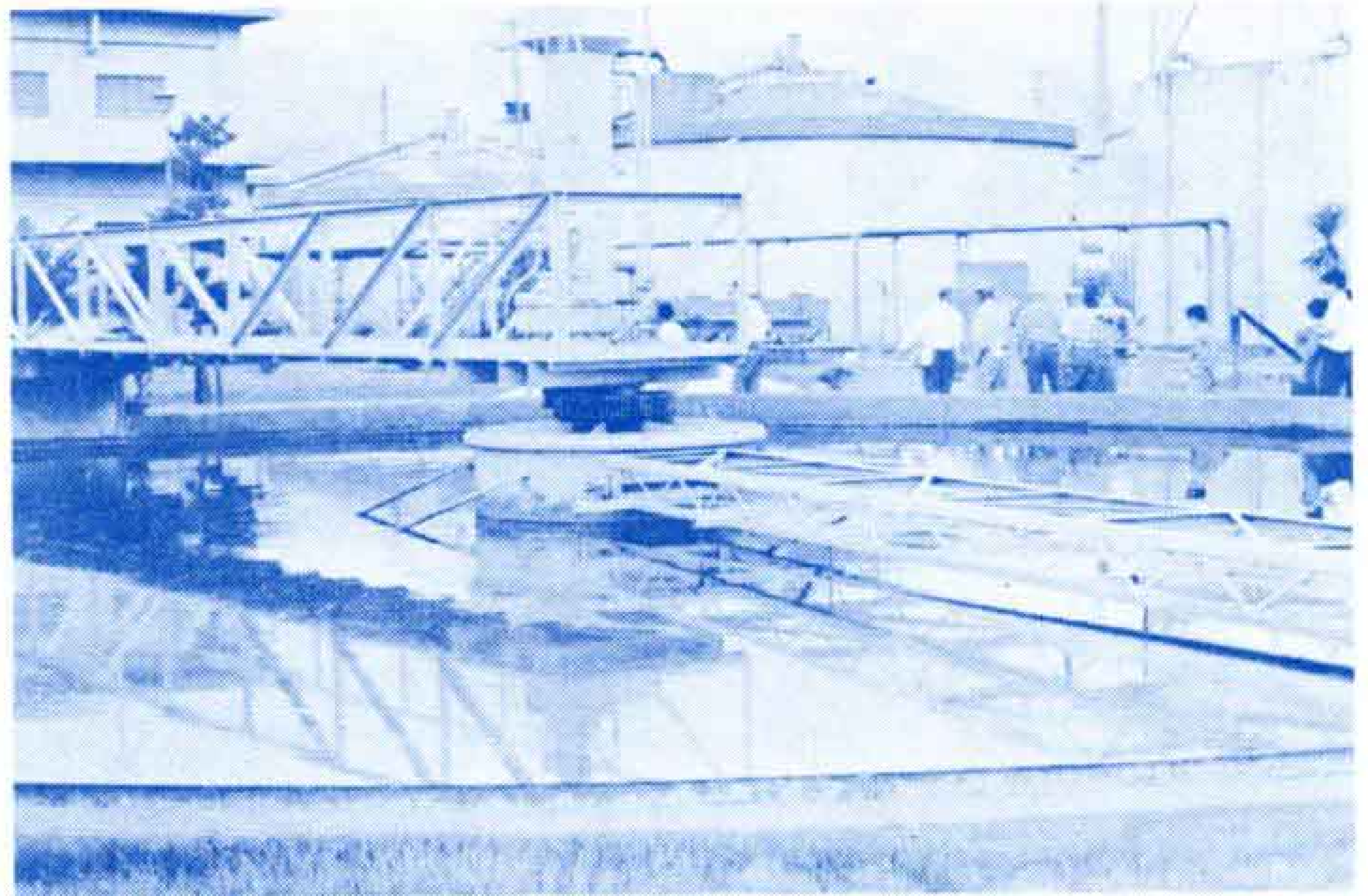
編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



第一回郷土の歴史展（古代文化と民族資料展）

下水道は住みよく文化的な生活をするのに、なくてはならない都市施設です。下水道が整備されると、市街地でとかく見られる排水溝からの浸水、河川の汚れ、カヤハエの発生が防止できるなど、生活環境はたいへんよくなります。ところが必要なことがよくわかっている下水道もたくさんのお金がかかるため、事業は思うように進みませんでした。このため昨年から受益者負担金制度を取り入れ、積極的に事業を進めていますので、下水道のあらましをお知らせします。



52年までに市街地の40%を整備

富士地区の処理場は 来年度から

下水道には、公共下水道、特定公共下水道、流域下水道、都市下水路があり、富士市では公共下水道事業を進めています。

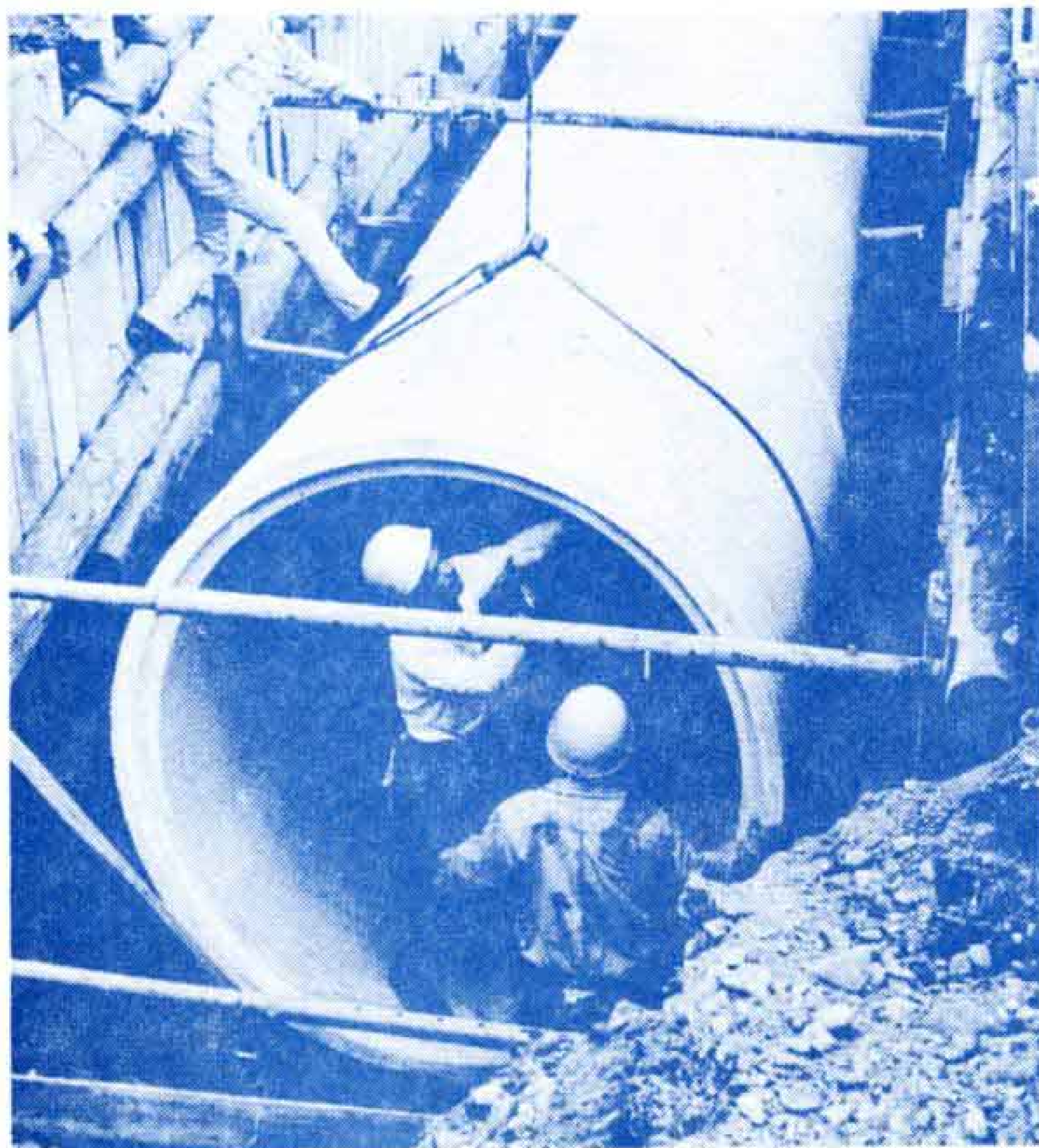
吉原地区で下水道事業に着手したのは昭和34年で、すでに一部で使用しています。現在下水道事業として、認可をとつてあるのは、市街地面積の30%に当る501%で、約10万%の下水道管を埋める計画です。これは昭和50年までの計画で、

完成すると、約10000世帯、41000人の人たちが下水道を利用できるようになります。なお、今年の3月までに、計画排水面積の41.2%にあたる206.68%を整備し約4000戸、18350人が利用できる状態になりました。ところが、実際に水洗化などして使用しているのは約2600戸、12000人にすぎません。

富士地区では、昭和39年から着手しましたが、現在までに2096%の幹線管路が完成しています。また、この計画に、鷹岡地区を新たに含めて行なつていきますが、今年度中に処理計画などを決めます。処理場は来年度から新浜に建設しますが第1期工事が完成する昭和52年には一部

使用できるようになります。

なお、これからは国の公害防止対策にそつた下水道事業計画をつくつていきますが、市では昭和52年までに684%（吉原処理区525%、富士処理区159%）の区域内で処理できるように計画しています。これは、市街地の40%を処理することになります。さらに、昭和60年までに5934%（吉原処理区941%、富士鷹岡処理区3172%、東部処理区1821%）を処理する構想です。この計画が完成すると33万5000人が下水道を利用できるようになります。



処理区域内の人は必ず 排水設備を

下水道法によつて、下水道施設が利用できる区域内では、施設を使用できるようになつた日から、すぐに家庭汚水は下水道に流さなくてはなりません。また、くみとり便所を設けている場合も、原則として3年以内に水洗便所に改造することを義務づけています。

しかし、すぐに下水道管に接続できるのに、工事をやつていない家が、1400戸ほどあります。区域内の人はできるだけ早く設備をしてください。これらの工事を行なわないと罰金が科せら

れることもあります。

下水道を利用する場合は、市下水道課へ届けをし、許可を得なければなりません。届けは工事店で行なつてくれます。なお工事は市が指定した工事業者でなければ施行することができません。市で指定した業者は、経験のある技術者がおりますので安心して工事をまかせられます。また、市で工事単価を統一しておりますので、業者により工事費の差はありません。万一、不審な事がありましたら、下水道課へご連絡ください。

受益者負担金制度の採用で 事業は大幅にすすむ

…負担金は1㎡65円…

下水道の必要性がよくわかつていのに、なかなか普及しないのは、ひとつに、ばく大なお金がかかることがあげられます。といつて、下水道事業を進めないわけにはいきません。富士市は、ほかの市にさきがけ昭和34年から着手しました。しかし、普及率は全市のわずか1割にすぎません。このテンポで進んだら全市の下水道整備は200～300年かかってしまいますそこで、1日も早く下水道を完備し、環境衛生都市としての機能を整えた、住みよい町づくりをするため、昨年から受益者負担金制度を取り入れました。

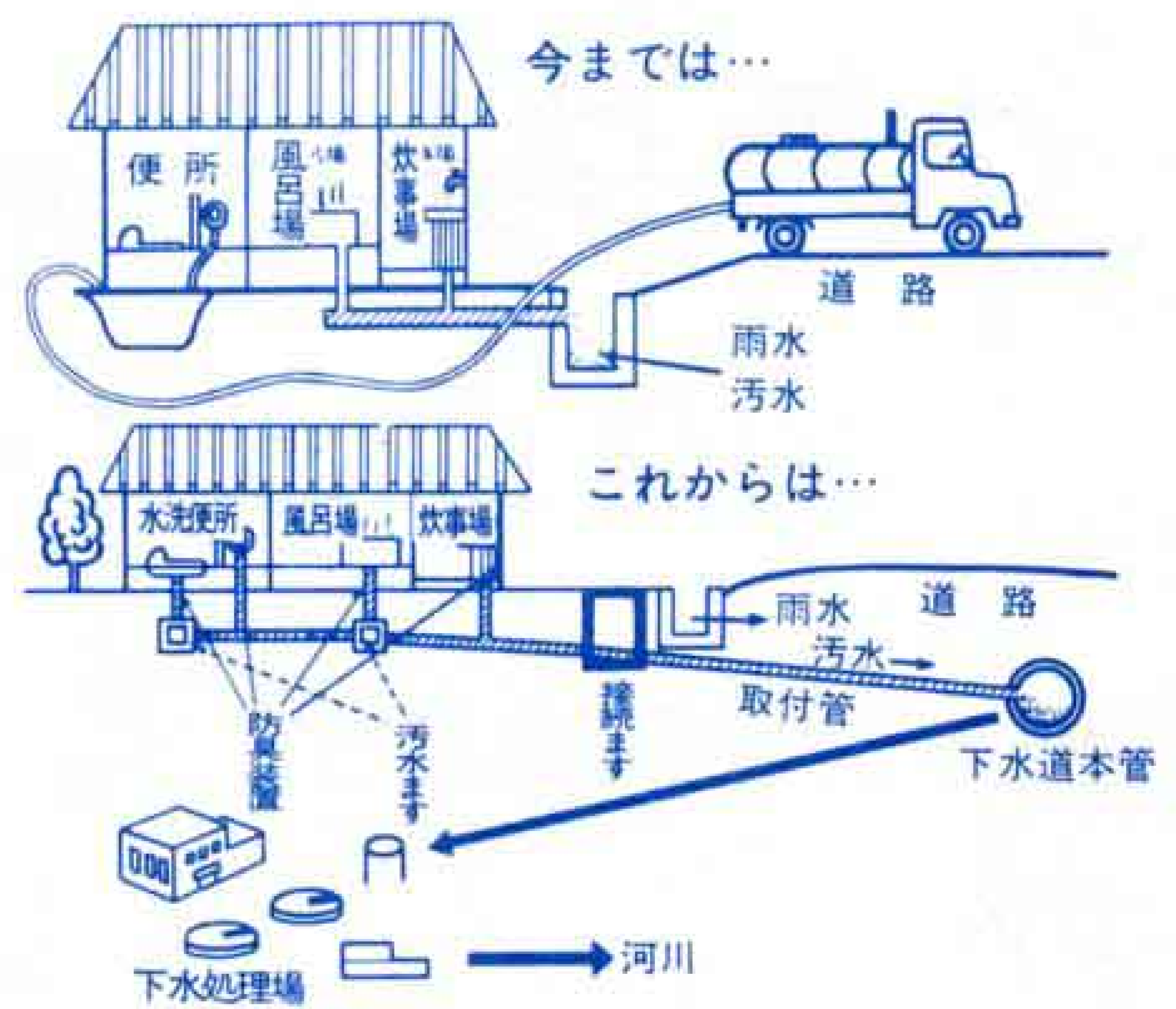
この制度を取り入れたことによつて、国も優先的に補助金を出してくれたり、お金を貸してくれるので、多額の事業費が投入できるので、事業がぐつと進みます。

受益者負担金制度は、下水道ができる、区域内のひとはそれによつて利益を受けるので、事業費の一部を負担していただくために設けられました。この負担金を納めていただく人を受益者といいますが、下水道計画区域内に土地をもっている人が該当します。なお区域内に正式な契約をして土地を

借りている場合は、地上権者、借地権者が受益者になります。その土地に家屋が建っている場合、だいたい家屋の所有者が受益者となります。ただし借家人(社宅、市営住宅の入居者)は受益者になりません。

負担金は、事業費に5分の1を掛け、その額を負担区域面積で割つて出しますが、1平方メートル62円(1坪204円)になります。たとえば、165平方メートル(50坪)の土地を持っている場合、負担金10230円になります。これを5年分割で1年を4期にわけるので20期にわけて納めていただきます。

受益者はみなさんの申告によつて決めています。該当する人には申告書を市役所から届けますので決められた日までに申告していただきます。もし申告書の提出がない場合は、土地台帳などを調べ市長が認定し、土地の所有者や権利者に負担金をかけることとなります。したがつて、土地を売買したり、土地を貸したり、借りたりした場合は必ず「受益者異動申告書」を提出して手続きをしてください。



排水設備の改造には 資金をお貸しします

公共下水道を使用できる区域内では、家庭汚水を下水道に流さなければなりません。しかし、一度にお金がかかるので工事はまだ一というひとのために排水設備(水洗便所)改造資金の貸付を行なっています。貸付額は10万円以内で、利率は日歩1銭8厘、30カ月の月賦返済です。希望する人は、工事が完成してから、都市開発部下水道課へ申込んでください。

なお、一般の家庭で排水設備を行なう場合、工事費は建物の規模構造によつて違います。くみ取り式の便所を水洗便所に改造し、炊事場などの排水設備をすると、普通家庭で8～10万円ぐらいかかります。くみ取り式便所を水洗便所に切替えるには、1日で簡単にできますが、水道工事費は別になります。

この制度は新築の場合利用できません。ただし処理区域内に家を新築する場合は、水洗便所にしないと建築が許可されませんので注意してください。

下水道を使用するようになると、下水道の維持管理や処理場の運転経費に当てるため、使用料をいただきます。使用料は、市の水道を使用している場合水道料金の2分の1。自家用の井戸などを使っている場合、一般家庭は1立方メートル15円、公衆浴場は1立方メートル5円の料金をいただきます。

160人が下水道相談に

…5カ所で相談所を開設…

9月10日の下水道デーを中心に、5日間下水道相談所を開設しました。相談場所は、公共下水道の設置区域内の吹上公民館、駿河銀行吉原支店前など5カ所で行ない、意見や要望などの相談を受けました。

各会場で受けた相談ごとは、その都度回答を行ないましたが、約160人が相談におとずれました。なお、相談事項としては、「下水道工事の時期について」「排水設備工事の費用について」「排水設備工事の施工方法について」「排水設備工事店の早期着工要望について」「排水設備貸付資金の借用について」「下水道計画の早期着工を望む」「受益者負担金について」などが主なものです。



大手は1.7^{パーセント}、中小は2.0^{パーセント}以下に

10月1日から低イオウ重油に切換え

煙突に自動記録計を 設置

大気汚染のうち、イオウ酸化物の削減のための施策として、昭和47年度の指導方針ができあがりました。そこで、この指導方針のうち、低イオウ重油への切換えと煙突に亜硫酸ガスの自動記録計設置について協力を要請するため、9月19日鷹岡公民館で説明会を開きました。これは、市内の事業所のうち、大気汚染防止法に基づく特定施設をもっている事業所(約200)を対象に行なつたものです。説明会では、まずはじめに市が昭和44年から行なつている市内の汚染状況の測定結果について報告をしましたが、それ

によると

- 市内の大気汚染のほとんどは工場の操業に伴つて発生している。
- 重油の使用量は毎年増加している。
- 重油の消費に伴つて、イオウ酸化物の量も増加している。
- 市内の測定点のうち、富士保健所、元吉原中、吉原第3中は、常に高濃度汚染地区である。
- 市内の汚染については、中小企業の影響も思つたより大きい。

などの点が指摘されました。すでに大手企業では、これまでもいろいろな防止対策が進められ、効果も出ています。ところが、中小企業では法に基づく排出規準を守ることがせい一杯で指導もゆるやかでした。したがつて、市では指導方針のうち重

油の低イオウ化については積極的に協力をもとめ、切換えの目標を10月1日にしました。

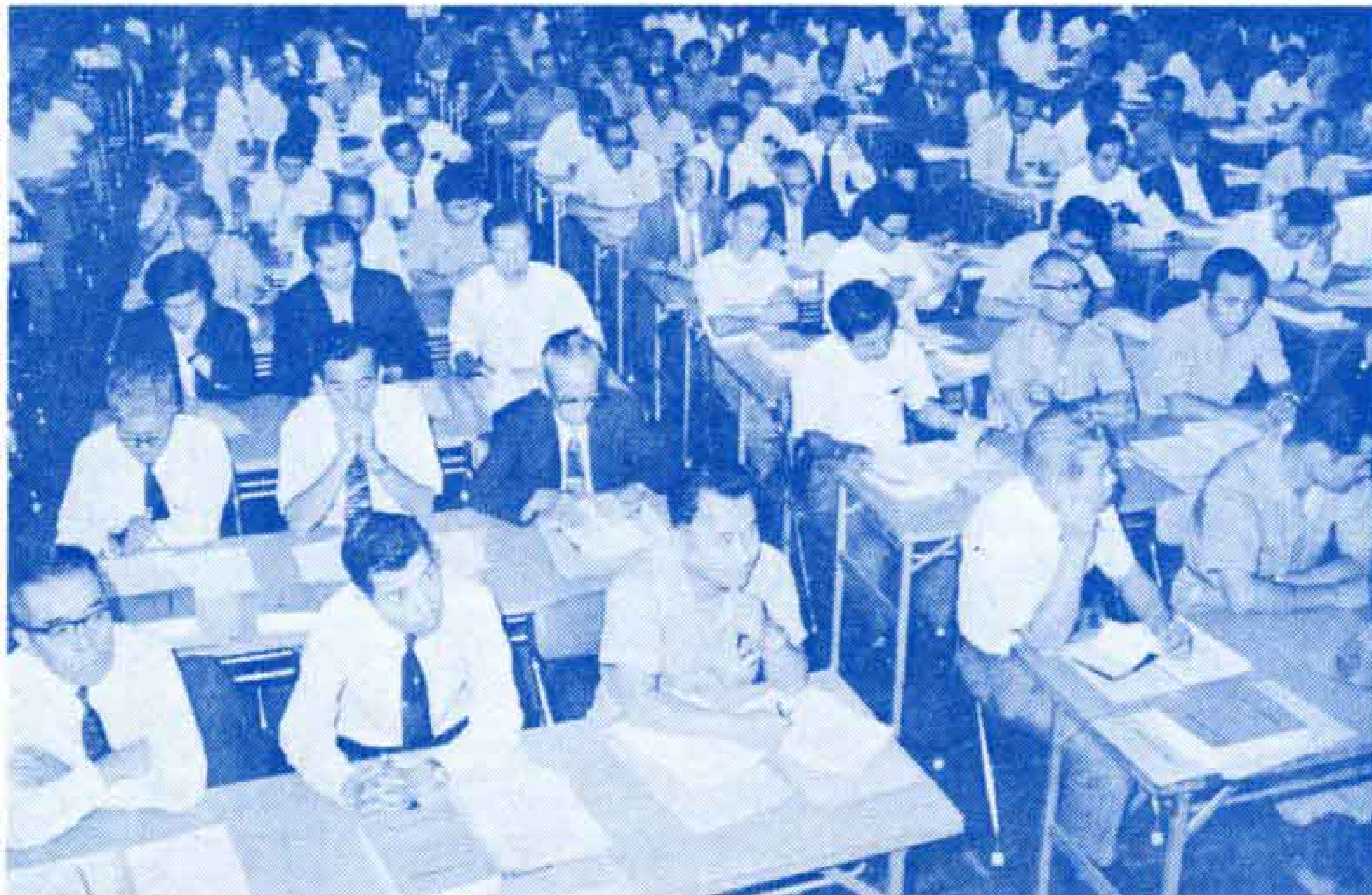
この結果、使用重油中のイオウ分は大手工場(31工場)1.7^{パーセント}以下、中小工場2.0^{パーセント}以下として、10月1日から実施していただきます。重油の切換えについては9月中に届出を行ない、すべての企業に一律公平をはかります。低イオウ重油に切換える場合、良質の重油を提供できるかどうか問題でしたが、市が供給メーカーと接しようした結果、供給できる見通しがつきました。

日量10トン以上の 重油使用工場に

これで、市内の全企業が使う重油のイオウ分は、これまでの平均2.2^{パーセント}から1.8^{パーセント}となり、煙突から排出される亜硫酸ガス量は、現在の日量200トンから160トン余りに減ることになります。

また、イオウ酸化物の発生を監視するため、重油を1日10トン以上使用する企業には、発生源に対して測定器の設置をするよう協力を求めました。

測定器は、煙突から排出される亜硫酸ガスの濃度と排出量が同時に測定できるもので、煙突ごとに設置します。なお測定器は1基約150万円ですが、3分の1の50万円を市で補助します。この測定結果は、毎月市に報告をすることになっていますので、今後は発生源監視ができるようになります。



【低イオウ重油の切換えとイオウ酸化物自動記録計設置の説明会】

件数 225件
(7月までに1429件)

死者 2人
(7月までに21人)

負傷者 127人
(7月までに798人)



八月の 火災 交通 事故 件数



5件発生
(7月までに49件)

損害額 1091万円
(7月までに4567万円)

死者 0 傷者 0
(7月までに死者2人
負傷者5人)

商業販売額が1000億円の大台を突破

5月1日現在で行なつた商業統計調査の結果が、このほどまとまりました。この調査は通産省が、2年に1度行なうもので商業活動を営む卸売、小売りなど全商店についてその分布状況、商品の流通状況販売活動などを調べます。前回は昭和45年に実施しました。

商業は製造業のように、不況の影響はあまり受けなく、年間販売額は1205億円（45年945億円）と1000億円の大台をついに突破し、前回の調査より260億円も増加しました。このように富士市の商業は着実に発展していますが、県下の5大市に比べ、販売額、商店数などはまだ相当の差があります。

県下の販売額上位5市（単位万円）

	商店数	従業者数	年間販売額
浜松市	9,909	45,113	54,711.392
静岡市	10,093	50,952	50,386.198
清水市	5,766	22,339	28,063.425
沼津市	5,116	24,953	22,770.657
富士市	3,706	14,716	12,050.654
県総計	71,048	279,525	241,197.425

商店数は3706店で、このうち飲食料品小売業が1160店で全体の31.3%、次いで飲食店813店、織物衣服、身の廻り小売業368店などが主なものです。なかでも飲食店が前回の調査より103店も増加しています。

従業者数は14716人で、小売業11566人、卸売業3150人です。小売業のうち飲食料品小売業が3518人、飲食店2390人で約半数を占めています。

年間販売額は1205億654万円で、このうち卸売業が596億6942万円、小売業は608億3712万円となつていま

す。これまでの調査では常に卸売業が小売業を上回っていましたが、今回の調査では小売業の売上げが伸び、ついに卸売業を上回りました。

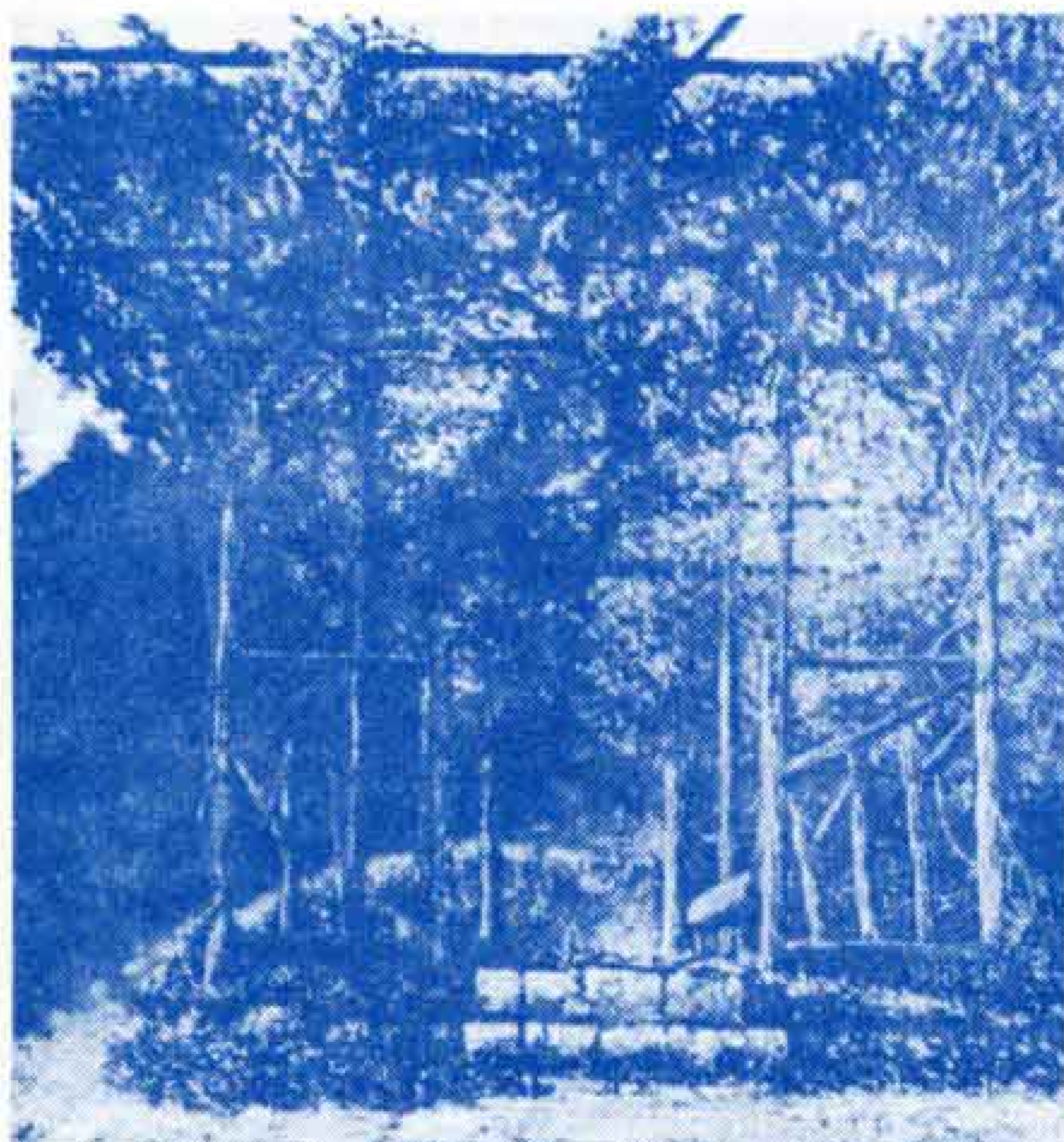


【着実な伸びを示す商業活動】

- 議長賞 植松曠（上田端）
- 教育委員長賞 山岡壮太郎（広見町6）
- 教育長賞 野田みのる（荒田島）
- 努力賞 高島ちえお（天間）
- 丸山美好（伝法）
- 〔写真〕二児童、生徒
- 市長賞 佐野仁美（富士見高）
- 教育長賞 外山藤雄（田子浦小）
- 金賞 小林知恵子（吉原第1中）
- 宮川広（富士第1小）
- 銀賞 市川ほづみ（富士見高） 高松敬子（富士見高） 望月学（吉原第1中）
- 土屋由子（富士見高）

美術展・写真展の入選者決まる

第6回富士市美術・写真展を9月22日から3日間、吉原市民会館で行ないました。応募作品は、洋画97点、日本画21点、工芸73点、写真一般113点、児童・生徒52点もありました。なお、各部門の入賞者は次のとおりです。



【洋画で市長賞を受けた久松孝久さんの作品】

- 〔洋画〕
- 市長賞 久松孝久（吉原工業高）
- 議長賞 望月寿久（今井）
- 教育委員長賞 河野修三（広見町6）
- 教育長賞 鈴木アキオ（柚木）
- 努力賞 丹羽貞二（前田新田）
- 関口純一（宮の上）

- 〔日本画〕
- 市長賞 豊田青辰（中野）
- 議長賞 小永井茂昭（平和建設）
- 教育委員長賞 大月てる子（鈴川）
- 教育長賞 加藤春夫（湯沢平1）
- 努力賞 渡辺信雄（西比奈）
- 荻田邦孝（水戸島本町）

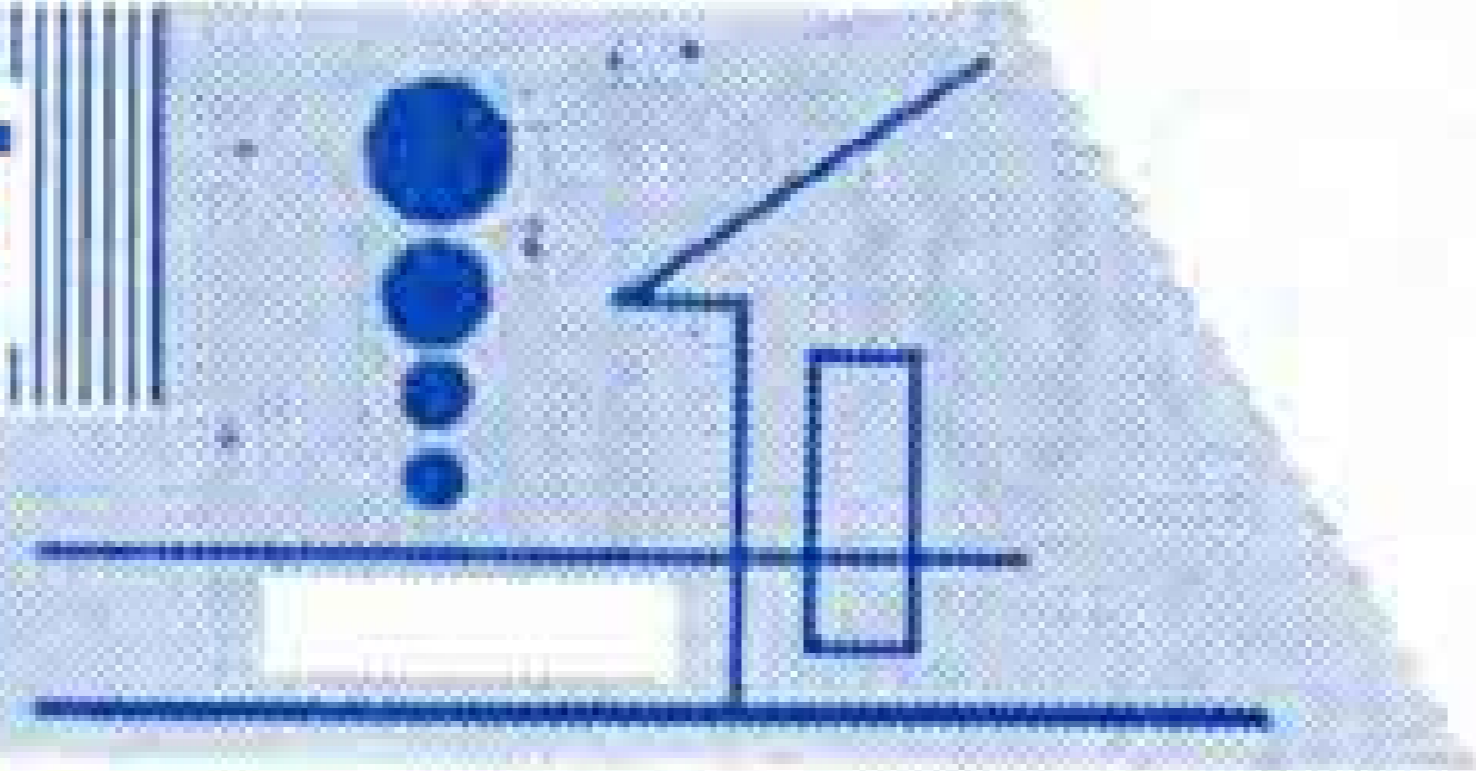
- 〔工芸〕
- 市長賞 丹羽孝枝（水戸島1）
- 議長賞 鈴木誼子（石坂）
- 教育委員長賞 片岡政子（船津）
- 教育長賞 手島とみ子（本市場）
- 努力賞 前島健治（天間）
- 加藤のり子（厚原）

- 〔写真〕二一般
- 市長賞 志村和雄（今泉8）



【写真の児童生徒の部で市長賞を受けた佐野仁美さんの作品】

市政モニター提言



暖かい老人福祉対策を

先頃、日本人の平均寿命の伸び率が発表になりました。それと同時に、ただ延命を喜んでばかりいられない、幾多の老人問題も提起しています。

老人への一里塚は、だれしも同じで貧富や身分の差はありません。静かな余生を送りたいと願わない人はいないはずで、けれど、現実には富める人は裕者なり貧しき人は老骨にムチ打つての生活との戦い、そこには人生最終コース千差万別の人生ドラマがあつて当然かと思ひますといつて、社会の暖かい手を待っているお気の毒な老人に何もしてやらないのではこまります。富士市でも老人対策には力を入れていると聞きましたが、まだま

だという感じがします。

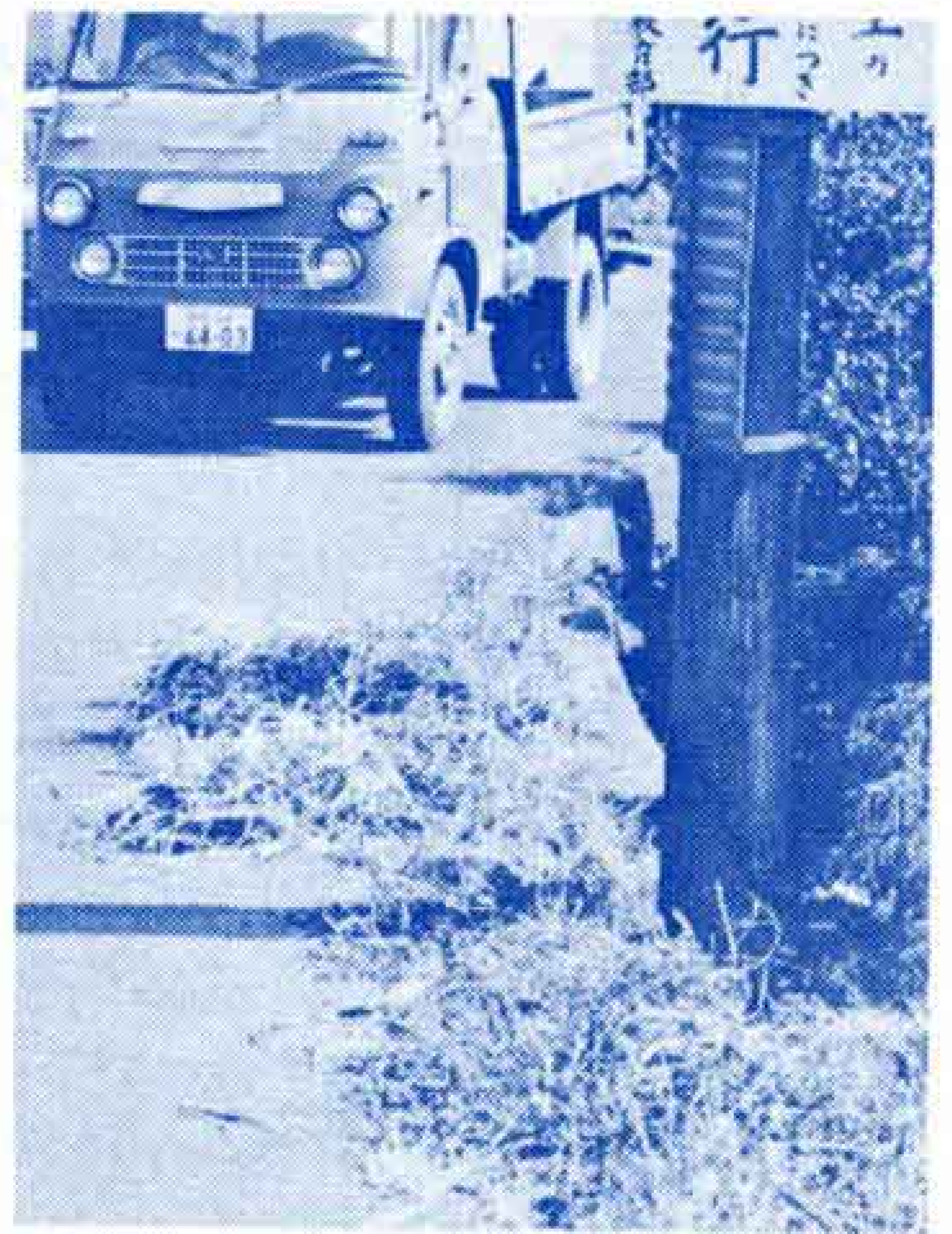
つい先日、新聞の家庭欄にボランティア精神についてのアレコレが載つており大変興味深く読みました。人間愛、社会愛、その奥深い愛のテーマは避けるにままならぬ、人間らしさへの永遠の迷路のようです。ボランティア…イコール…使用もできない古着の山とおしきせの愛、それだけでは解決がむずかしい、と結んでありました。

ホームヘルパーも身分の保障を定め、プロとして働いてもらう場合には、もつと活用できる道も多かろうと思ひます。それには、やはり行政との密着がなくてはむづかしい事でしょう。もしそんな道

が開けるような時が来たならば、私も率先して努力してみたいと思ひます。

北から南から、いろいろな人が集まる我が市の老人福祉対策または計画など、市長さんの英断をお願いします。

(竹内幸子・厚原中)



ひとこと

道路へ草を投げ棄てないように

畑や田んぼの草刈りなどをして、刈り取つた草を道路へ投げ棄てる人がいます。このため、歩行者や付近の人に大変迷惑がかかっています。投げ棄てられた草が側溝へ落ち水の流れをせきとめるため、近所の人やミゾさらいをすることもしばしばあります。

このようなことは、鷹岡地区に限らず農地に面した道路でよく目につきます。刈り取つた草は、よい肥料にもなるはずですから、農家のみなさんほかの人の迷惑を考え注意してください。

(鷹岡 一市民)

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。急病のときにご利用ください。

■10月1日

- 外科 米山病院(吉原4 52-3060)
- 戸田医院(横割1 61-2026)
- 産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■10月8日

- 外科 渡辺病院(錦町 51-3751)
- 吉田医院(石坂 51-2515)
- 産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■10月10日

- 外科 鈴木医院(宇東川3 52-2213)
- 川村医院(富士中島 61-4050)
- 産婦人科 北西医院(本市場61-0119)

■10月15日

- 外科 中央病院(本市場 61-8860)
- 米山医院(今泉1 52-0275)
- 産婦人科 遠藤医院(吉原3 52-1941)

■10月22日

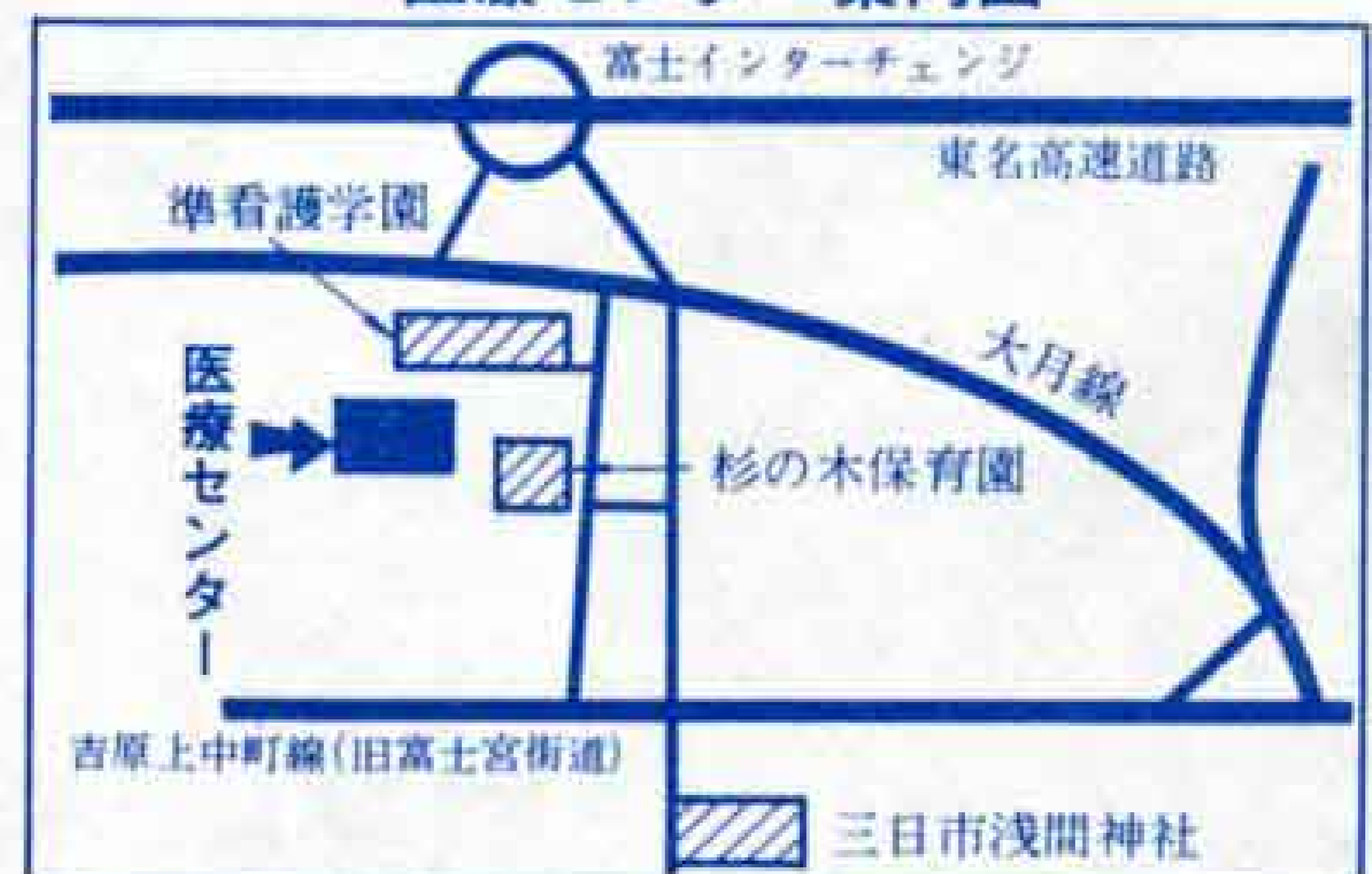
- 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
- 神谷医院(川成島 61-5900)
- 産婦人科 池谷医院(水戸島61-0873)

■10月29日

- 吉原病院(南町 52-0780)
- 松本医院(久沢東 71-2570)
- 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

※内科は富士医師会が「医療センター」で行つています。診療時間は午前9時から午後5時までです。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町) 電52-3104」です。



■お年寄りに料理のサービス

「丈夫で長生きをしてくださるようお願いながらつくりました。」と富士調理士専門学校の人たちは、五目ずしやドーナツなどの料理を持って、9月9日吉原と富士の老人ホームをおとずれました。この催しも今年で8回目になり、毎年9月9日に来ていただいています。今回はホームに来て料理ができなかつたので、学校で朝5時半から130人分の料理をつくつて来てくれました。ホームでは、さつそくお昼にいただきましたが、お茶のサービスまでしてもらうなど、お年寄も大喜びでした。

【写真は老人ホームでの昼食】

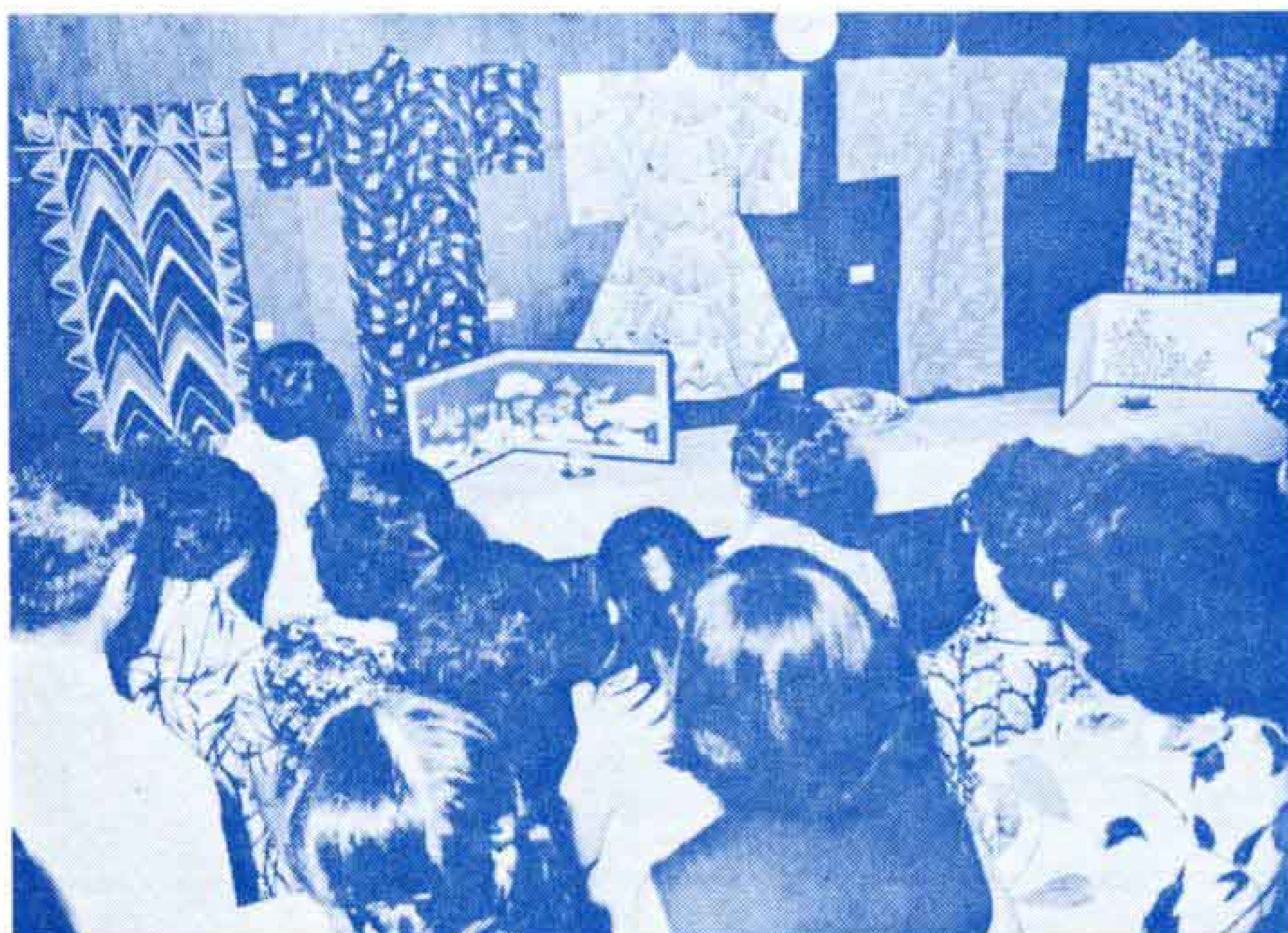


■丸火自然公園などにキジを放鳥

丸火自然公園、愛鷹山、境塚の3カ所に9月12日と14日キジのヒナ70羽を放鳥しました。さいきんは、野鳥の住み家が別荘地やゴルフ場になるなど環境も悪くなり、野鳥は減る一方です。放鳥した場所は、いずれも鳥獣保護区になっていますが、なかでも丸火自然公園などは、繁殖すれば親子づれのキジが見られるようになるかも知れません。みなさん、キジやヤマドリなど野鳥を見かけたら、いたづらしないでください。

■甘い梨が食べられます

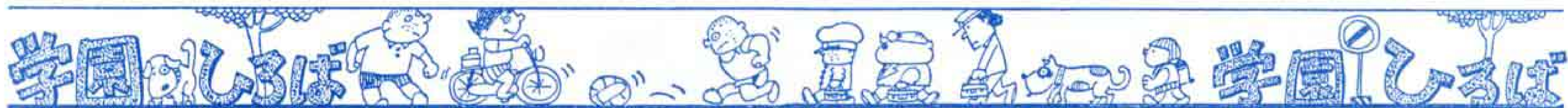
市内の梨生産農家がたんせいこめてつくつた、梨の品評会を8月6日、富士文化センターで行ないました。品評会には、93農家から約100個の梨が出品されました。今年は例年になく天候にめぐまれ、形も平均しており、糖度も昨年を上回るほどで、ずいぶん甘い梨が食べられます。なお、審査の結果、遠藤京一さん（松本）が優勝しました。



■大盛況だった工芸展

第4回静岡県工芸展が、さきごろ文化センターで行なわれました。染織、金工、陶芸などの創作芸術を専門に研究している人たちの作品約100点を集めて展示しましたが、市内からも20人が出品しました。会場では、見学者にわかりやすいように、県工芸家協会の会員が作品の説明などを行ない、連日大盛況でした。





学校自慢

＝吉原東中学校＝

全校生が運動部で活躍

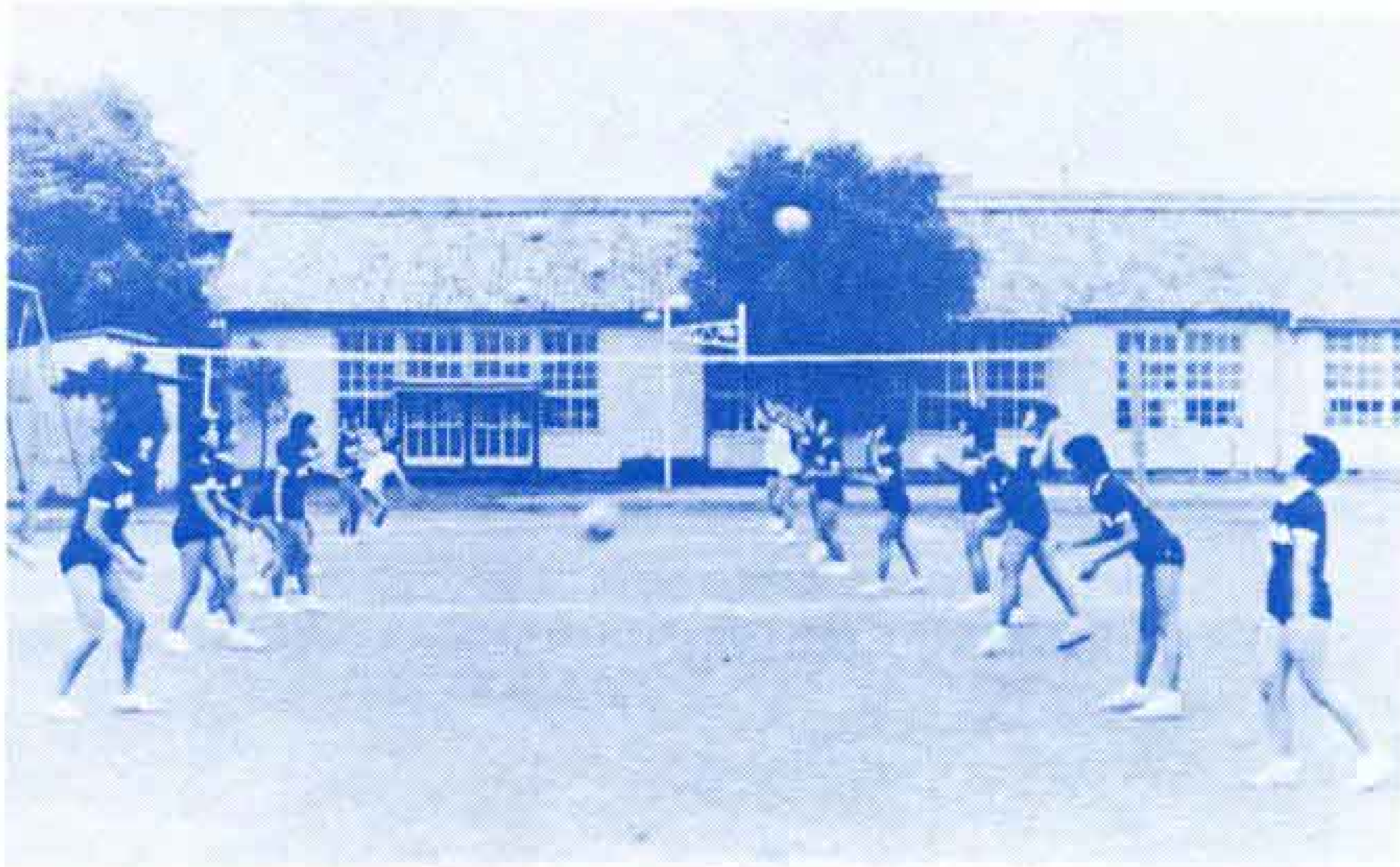
我が東中では、「自主・健康」という旗のもとに、学校生活を送っています。そのひとつとして「部活動の全員参加」があります。

現在部数は8つ。入学したときほとんど同時に、全員が各部に入部します。少人数でもあり、その点は徹底していますとはいっても、けつして強制的ではありません。男子バレーの東部大会出場。女子テニスの県大会出場は、好きで練習に熱中しなければ果たせなかつたろうと思います。

また、東中生の活躍を裏づけるものとして、スポーツテストでの好成績があります。

今年の夏休み中の登校日に、校長先生からうれしい話を聞きました。「中体連で『東中旋風』、ということばを耳にした。」ということです。優勝、入賞とまではいかなくとも、参加者全員が必死にがんばり、例年になく立派な試合をしたということだ

した。
これこそ全員参加がもたらした大きな成果ではないかと思うのです。放課後は8つの運動部に分かれて、練習に励んでいます。1年生もこの頃は、すっかり慣れて見ちがえるほどたくましくなりました。これからもわたしたちは、部活動で汗を流し、中学生活のすばらしい思い出をつくりまします。
（清水登波・3年）



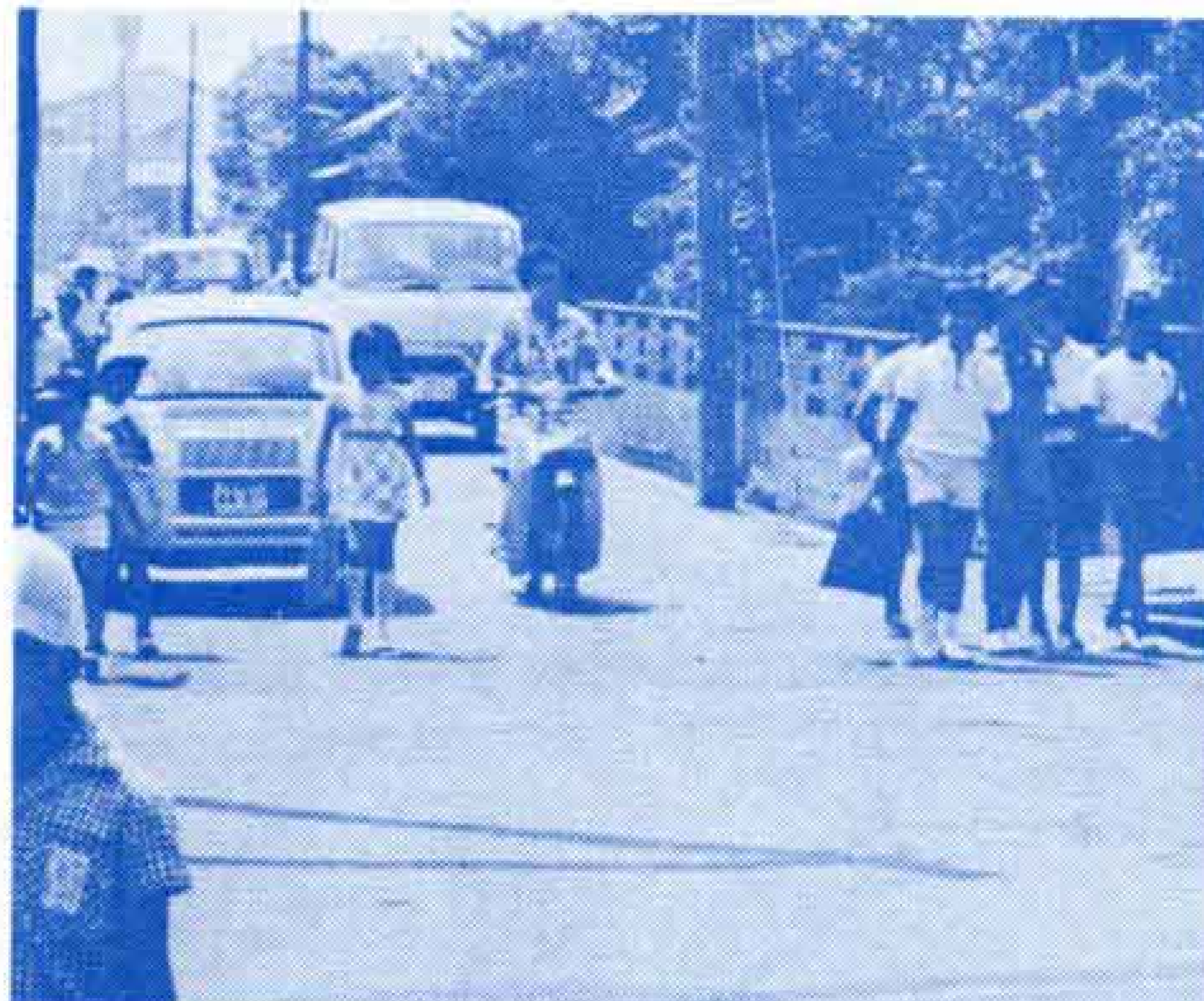
小中学生の化学作品展

夏休みに観察したり、研究した化学作品の展示会を9月15日から3日間文化センターで行ないました。植物や動物の観察記録、風と気温の変化

など、どの作品も夏休み中に努力してつくつたものばかりで、276点が展示されました。会場には、家族づれの人がおおぜい見学にきました。

歩くときは右？左？…

みんな学校へ行くときや帰りなど、友だちと話しながら歩くのはいいけど、道路いつぱいになつているとあぶないよ。歩行者は右・左どっちを歩いたらいいのかな——みんな知つてるね先生や交通指導員のおじさんたちが見ていなくても、決められたことは守りましよう。



市内には388河川が…

水のすきとおつたきれいな川。ゴミがたくさん流れている川。川にもいろいろあるけど、市内には全部でいくつ川があるかなー。川によって1級河川、2級河川、普通河川に分け

てあるけど、全部で388河川もあるよ。みんなの家の近くを流れているのはほとんど普通河川で374河川、1級河川は富士川、2級河川は沼川、潤井川など13河川だけなんだ。

◆訂正、前号で、子ども会球技大会の女子キックベースボール優勝は、富士本子ども会となつていたのは、依田原子子ども会のまちがいでしたので訂正します